

教科	総合的な学習の時間	単元名	ごみ問題について考えよう
----	-----------	-----	--------------

本時のねらい

・本時までに集めた情報について、シンキングツールを使って整理し、学習課題について考えやすくする。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

・ロイノート上に集めた多くの情報について、目的に合ったシンキングツールを自分で選択し整理していく。

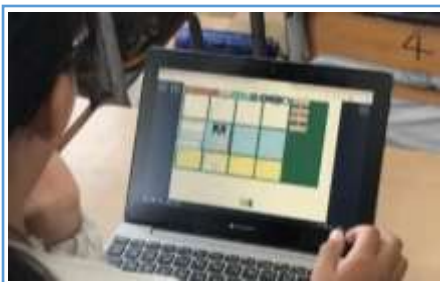
活用したICT機器・デジタル教材・コンテンツ等

・ロイノート ・大型提示装置

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (10分)	○本時の学習について見通しをもつ。 めあて「シンキングツールを使って情報を整理しよう」 【写真1】	○学習計画（単元の初めに配付）を提示し、前時の活動から本時の学習について見通しを持てるようにする。 ※学習計画・・・（問題を見つける）（情報を集める）（情報を整理・分析する）（まとめ・発表）のプロセスで区切られた、単元のゴールまで見通すための計画表 ○シンキングツールの使い方について丁寧に説明する。
展開 (30分)	○本時までに集めた情報（ごみ問題に関する情報）を整理する。 ・分類する（Yチャート・Xチャート・ベン図） ・順序立てる（ステップチャート） ・理由づける（クラゲチャート） ○足りない情報があると分かったら、再度情報を集める。 【写真2】	○分類する際の視点について、自分で考え出すのはまだ難しいと考えられるので、適宜支援していく。 （例）『国ごとに項目を分けたらどう？』 『「その他」という項目を入れるとまとめやすいよ』 ○一つの情報が長すぎてまとまっていない児童には、分類する際に必要な部分を抜き出すよう声かけを行う。 ○自分の学習課題にあった整理の仕方、情報の集め方を意識させる。
まとめ (5分)	○学習をふり返る。 ・いくつかの観点（シンキングツールの活用、情報と視点の組み合わせ方、学習時間など）に沿って、よかったところや改善点を挙げながらふり返る。 【写真3】	○次時の活動につなげられるような文章表記を行うよう声かけを行う。 ○学習の成果物とふり返りを提出し、教師や他の児童と共有できるようにする。

1人1台端末を活用した活動の様子



【写真1】これまでの学習を振り返り、今回のめあてを確認している場面



【写真2】シンキングツールを使って集めた情報を整理している場面



【写真3】ふり返りシートに今日の学習でよかったところや改善点を記入している場面

児童生徒の反応や変容

- ・教師の説明の前に、自分から学習計画を見て、学習の見通しをもてるようになる児童が増えてきた。
- ・情報を「整理する」活動を通じて、情報を「集める」ときにもっとこうしておけばよかったと自ら改善点を見つける姿が見られた。
- ・自分の学習課題（例：外国の3Rについて／身近な3Rの問題点など）を意識した見通しをもった学習態度が多く見られた。
- ・自分の考えをシンキングツールで整理することで考えをまとめることができ、ツールの便利さを実感している児童が増えてきた。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・国語や社会を中心に、情報を「集める」「整理する」など、教科横断的な視点をもって学習しやすい単元であるので、効果的に情報活用能力を高めていくことができると考える。ただパソコンやシンキングツールを使うことが目的にならないようにしていくことが大切である。
- ・ふり返りの観点を学習のプロセスごとに変えて提示することで、より粘り強い学習や学習調整を行う態度の育成につながると感じた。
- ・シンキングツールの使い方や目的については、繰り返し丁寧に指導して、児童自ら使っていこうとさせていくことが大切だと考える。